

今後予想される首都圏直下型地震や南海トラフ大地震、思いもよらない地域での土砂崩れ、勢力の強いスーパー台風などによる様々な自然災害から、後を絶たない子供への犯罪事件や交通事故など、安全・安心な生活に対する脅威は増してきています。これらの脅威を低減する、更には、大規模災害からの復興や地域再生のために ICT が果たせる役割は大きいと考えられます。ICT を真に役立つものとするためには、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野からの知見、生活の基盤である通信、電力、道路、鉄道等の社会インフラの保全・管理・運用の現場からのニーズなどを考慮する学際的な検討が重要です。そこで、これらを対象とした質の高い論文による論文小特集を出版することにより最新の話題の提供を行い、様々な技術の更なる発展を図ることを目的として本小特集を企画致します。本小特集では、安全・安心のための ICT 技術に関する論文を一般に広く募集し、発行は 2024 年 4 月号を予定しています。

1. 対象分野

- ・安全・安心な生活に役立つことを目的とした情報通信技術、アドホックネットワーク構築技術、輻輳制御技術、高信頼無線アクセス技術、遅延耐性ネットワーク技術、広帯域無線伝送技術、ネットワークシステム設計技術、最適配置技術、ITS 技術、センサーネットワーク構築技術、GIS 技術等
- ・安全・安心な生活に役立つことを目的とした社会科学分野：災害情報学、災害時行動心理学、危機管理情報学、サービスサイエンス等
- ・通信、電気、道路、鉄道等の安全・安心な生活のために必要な社会インフラ設備に関する保全・管理・運用技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文執筆と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度とします。レターは参考文献を除いて 4 ページを超えていた場合、投稿を受け付けませんので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) に従って下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があります。論文掲載の場合、掲載料を 2023 年 10 月 15 日までにお支払い頂きますので、あらかじめ御了承下さい。筆者全員が非会員でも投稿できますが、掲載料が非会員価格となり少し高くなりますので、入会をお勧めします。

3. 論文投稿締切日

2023 年 3 月 17 日（金） 厳守

4. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。なお、電子ファイルの作成や投稿論文管理システムの利用が困難な場合は、下記の間合せ先まで御相談下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。フォーマットは PDF のみ受け付けます。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special SS] Information and Communication Technologies for Safe and Secure Life を選択して下さい。[Regular EA] Fundamentals を決して選択しないで下さい。

5. 間合せ先

井ノ口宗成

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

TEL/FAX [076] 411-4890 E-mail: inoguchi@sus.u-toyama.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 和田友孝（関西大）

幹事 井ノ口宗成（富山大）、新 浩一（広島市立大）

委員 佐藤翔輔（東北大）水野 修（工学院大）山内尚久（三菱電機）山崎達也（新潟大）間邊哲也（埼玉大）宮北和之（新潟国際情報大）遠藤邦夫（Synspective）不破 泰（信州大）中野敬介（新潟大）大塚 晃（事業創造大）内田 理（東海大）宇津圭祐（東海大）石田賢治（広島市立大）佐藤大輔（NTT）布目敏郎（名工大）早坂 昇（大阪電通大）